”世知原っ子に「夢」と「笑顔」と「達成感」を”

夢をもち，心豊かで，たくましく生きる子どもを育成する

開知

○笑顔いっぱい
○学びいっぱい
○元気いっぱい

世知原小だより第９号　令和元年５月２４日　文責　久保 克則

世知原小の朝の風景です

先日来，**小学校前の信号機のある横断歩道で，朝の立哨指導をしていただいている地域の方と「昨年度からすると，子どもたちの登校時刻が早くなったよね。」という話をしています。**私も４月の時点から次第に感じていることでした。本校の登校時刻の目安は７時１５分～８時としております。早くなっているというのは，もちろん登校してくる子どもたちが，７時１５分よりも早く来るようになったというのではなく，**ほとんどの子どもが８時前には学校に到着しているというものです。**私自身も，可能な限り，朝の登校時刻には学校前の横断歩道に立つようにしています。仕事を始める時間の関係で，７時５５分までを目安にしているのですが，その終わりの時刻前に，ほとんどの子どもたちが通っていきます。

朝の活動に余裕をもって臨めるよう，用意をされ登校させていただいていることに，大変感謝しております。今後もご協力をいただければ幸いです。

そういうこともあってのことなのか，私が学校に戻ってくると，運動場で多くの子どもたちが遊んでいる光景を目にします。

朝の時間は，運動場でサッカーをしてよいので，高学年の子どもたちを中心に，体育館側で毎日元気にボールを追いかけています。反対側には遊具があるので，低学年の子どもたちが遊ぶことができるようにしているのでしょう。そう言えば，私が小学生高学年のころはドッヂボールが流行っていました。当時の大野小学校は，児童数が多いのに対して運動場が狭かったので，対戦する学級と前日に約束をして，朝早くに場所取りをして，毎日いろんな学級と対抗戦をしていたのを覚えています。とにかく楽しかったですね。

低学年の子どもたちは，反対側の遊具のあるところで仲良く遊んでいます。冬場になると長縄跳びをしている学級もあります。また，花壇を見渡しながら虫探しをしていたり，遊ぶというわけではないけれど，みんなで集まってお話をしたりなど，外で活動している子どもたちがとても多いです。私が佐世保市に戻ってから８年で３校目ですが，このような光景を見たのは初めてです。もちろん，室内で本を読んだり，学習の予習をしたりして過ごすのもよいことだと思います。

こういう朝の光景を見て，自分が小学生のころを何となく懐かしく思い出させてくれているのがうれしいなあと感じている，今日このごろです。